

1月26日-2月1日

イザヤ 28-29章

28番の歌と祈り | 開会の言葉 (1分) 吉田忍 | 田中克彦

神の言葉の宝

1. 言葉だけでなく心の中でもエホバを敬う (10分) 梅原直行

イザヤは当時の宗教指導者の偽善を非難した。(イザ 29:13。イ-1 299 ページ 23 節)

イエスはイザヤの言葉を引用して、1世紀の宗教指導者の偽善を指摘した。(マタ 15:7-9。塔研 21.05 9 ページ 7 節)

エホバはご自分に仕える人たちが「心から従順」でいることを願っている。(ロマ 6:17。塔研 24.06 10 ページ 8 節)



私たちが奉仕や集会で人に伝えていることを実践するのを見て、エホバは喜んでいる。

2. 宝石を探し出す (10分) 有田悟

イザ 29:1 ダビデが陣営を張った都市アリエル(mif*神の祭壇の炉/エルサレムのことと思われる)、アリエルには災いがある！来る年も来る年も、一連の祭りをやり続けるがよい。

エルサレムがアリエルと呼ばれるのが適切なのはなぜか。

(洞「アリエル」1節。(Ariel) [「神の祭壇の炉床」または「神のライオン」]。洞「アリエル」3項イザヤ 29章 1, 2, 7 節でエルサレムについて用いられているなぞの名。エルサレムは神の神殿の所在地で、神殿の領域内には犠牲のための祭壇がありました。そのために、この都市は事実上、神の祭壇の炉床でした。そこはまたエホバの清い崇拝の中心地であるとも考えられていました。しかし、イザヤ 29章 1-4 節の音信は不穏な内容のもので、西暦前 607 年にエルサレムに臨むことになっていたバビロニア人の手による滅びを予告しています。その時エルサレムは、注ぎ出された血が流れ、火で焼き尽くされ、火のような破壊による犠牲者の死がいであらゆる都市という、異なった意味での「祭壇の炉床」となるのです。この災いの根本的な原因は 9 節から 16 節に述べられています。しかし、イザヤ 29章 7, 8 節は、エルサレムにそのような滅びを被らせる諸国民が、その究極の目的または目標においては失敗することを示しています。)

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。

(29:10 - 12)現在でも偽りのクリスチャンは驚くほど聖書の内容を理解できておらず、自分たちに答えられない質問されると「:11 封印された/例えば奥儀」という表現を使って逃げることもある。一方でそのことは、真の神から聖書の真理を託されているエホバの証人しか伝道できないことを明らかにしている。その特権に感謝しつつ、喜んで良い知らせを伝えていきたい。

3. 聖書朗読 (4分) イザ 29:13-24 (教励 第2課) 長谷川貴史

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 宮城ひかる 愛込 1-5 田島智子

(2分) 日常生活で。相手がどんなことに興味を持っているかを知るようにする。再び話し合う約束をする。(愛込 レッスン1 ポイント5)

5. 再び話し合う 金刺亜以子 愛込 9-3 田島マヤ

(3分) 家から家で。前回の会話の中で尋ねられたことに答える(愛込 レッスン9 ポイント3)

6. 教えて育てる 枝並あや子 愛込 10-3 安齋恵里

(2分) 家から家で。聖書レッスンを勧める。(愛込 レッスン10 ポイント3)

7. 教えて育てる 福永悦子 愛込 11-3 大谷恵美子

(4分) 暮 レッスン18 ポイント6-7 (愛込 レッスン11 ポイント3)

クリスチャンとして生活する

89 番の歌

8. 「私は常に、その方が喜ぶことを行う」 (8分) 討議。 阿部直生

イエスは「私は常に、[エホバ]が喜ぶことを行う」と言いました。(ヨハ 8:29) 私たちはイエスに倣って、どんなこともエホバの望む方法で行うよう努力しています。簡単でないときもあるかもしれませんが、そのような努力は必ず良い結果につながります。



「エホバの望む方法で行う」の動画を再生する。次の質問をする。

・①迫害に遭ったり、②不道德なことをするよう誘惑されたり、③プライドに邪魔されそうになったりしたときもエホバの方法で取り組む大切さについて、どんなことを学べますか。⇒

①(アダムズ B)エホバに頼るのが一番。必ず支えてくださる。エホバの望む方法で行うこと大切

②(ディアス B)パンクロックにはまりありのままに自由に居られるように思ったが薬物やお酒に頼り不道德なことをするようになった。聖書を読むようになり、それまではエホバに頼っていなかったと気づいた。エホバを信頼して聖書の原則を当てはめるようになった。そうしたら何が大切かが分かり、エホバに仕えるために自分を変えようと初めて思えた。

③(カールセン B)会衆を移動して援助奉仕者の推薦がなかった時に自分に何ができるか考えるならエホバが助けを与えてくださると教えられた。自分自身に向き合うように助けられ、組織の中の立場よりももっと大切なことに注意を向けられるようになった。

9. 会衆の必要 (1/20~25 巡回訪問の復習) (7分) 星延宏

10. 会衆の聖書研究 大谷正 | 米山英行

(30分) [大レッスン 56](#), [セクション 10 の紹介](#), [レッスン 57](#)

閉会の言葉 (3分) | [55 番の歌](#)と祈り 田中慶一

^ ([イザ 28:1-29:24](#)) エフライムの酔っぱらいたちの派手な*冠*には災いがある！ その輝かしい美しさは、しおれゆく花のようだ。それはぶどう酒に酔いつぶれた者たちの肥沃な谷の上*にある。2 エホバは力が強い者を持っている。その者は、ひょうを伴う激しい嵐、破壊的な暴風、ひどい洪水を引き起こす雷雨のように、力強く冠を地面に投げ落とす。3 エフライムの酔っぱらいたちの派手な*冠は、足で踏みにじられる。4 その輝かしい美しさは、しおれゆく花のようだ。それは肥沃な谷の上*にあり、夏の前の早い時期になるイチジクのようになる。それを見る者は、手に取るとすぐにのみ込む。5 その日、大軍を率いるエホバは、ご自分の民の残っている人たちにとって、輝かしい冠、美しい花輪となる。6 座って裁く者にとっては公正さのよりどころとなり、門の所で攻撃を防ぐ者たちにとっては力の源となる。7 祭司や預言者もぶどう酒のせいで墮落し、酒を飲んでよろめく。彼らは酒のせいで墮落し、ぶどう酒によって混乱し、酒を飲んでよろめく。幻を見て墮落し、間違った判断をする。8 彼らの食卓は吐いた物にまみれている。汚れていない所はない。9 「誰に知識を伝え、聞いた事柄を説明するのか。乳離れしたばかりの子供、乳房から離されたばかりの子供にか。10 『命令に次ぐ命令、命令に次ぐ命令、1行ごとに、1行ごとに*、ここに少し、そこに少し』という具合だ」。11 それで神は、口ごもりながら外国語を話す者たちによって、この民に語る。12 神はかつて彼らに言った。「これが休み場である。疲れている人は休みなさい。これが憩いの場所である」。しかし、彼らは聞こうとしなかった。13 彼らにとってエホバの言葉はこう聞こえる。「命令に次ぐ命令、命令に次ぐ命令、1行ごとに、1行ごとに*、ここに少し、そこに少し」。彼らは歩くと、よろめいて後ろに倒れ、傷を負い、わなに掛かって捕らわれる。14 自慢する者たち、エルサレムでこの民を治める者たち、エホバの言葉を聞け。15 あなたたちはこう言う。「われわれは死と契約を結び、墓*と協定を交わした*。激流が通り過ぎる時も、われわれの所までは来ない。われわれはうそを避難所とし、偽りの中に身を隠したのだ」。16 そのため、主権者である主エホバはこう言う。「私はシ